

鳥羽商船高等専門学校 練習船「鳥羽丸」進水記念祝賀会
校長挨拶文

本日、鳥羽商船高等専門学校 練習船命名・進水式並びに記念祝賀会にご臨席いただきまして、誠にありがとうございます。無事に本校練習船「鳥羽丸」の命名・進水式を滞りなく挙行できましたことに心より御礼申し上げますと共に、本校を代表して、ご挨拶を申し上げます。

本校は校祖近藤真琴翁が明治8年（1875年）9月に芝新銭座二番地（現、東京都港区浜松町）に航海測量習練所として創基し、その分校として明治14年（1881年）8月20日に鳥羽商船齎として創立され、その後、変遷を経て昭和42年（1967年）6月に現在の国立鳥羽商船高等専門学校となりました。そして平成16年（2004年）に独立行政法人国立高等専門学校機構 鳥羽商船高等専門学校となり、現在に至っております。

この間、本校は国、地方公共団体及び地域社会の多方面の皆様からのご協力・ご支援により、多くの卒業生・修了生を社会に送り出してまいりました。船名「鳥羽丸」は昭和35年（1960年）3月竣工の練習船「初代鳥羽丸」から継承したもので、本日、無事に進水を迎えた新しい「鳥羽丸」は4代目にあたります。

4代目鳥羽丸は本校学生が航海実習を通じて、世界で活躍できる優秀な海技士を育成することだけが目的ではなく、日本における災害復旧に貢献できる災害支援機能を備えたものです。そして自律操船技術を基盤とした自動運行システムの実習可能な設備を実装した我が国の最先端の練習船です。またダイバーシテイへの配慮ができる設備を持っており、船員を指す女子学生の増加等にも対応できるようになっています。

この4代目鳥羽丸の建造も、皆様からの多大なご支援によるものであり、今まで以上に皆様からのご期待に応えることができるように、教育・研究・災害支援・地域貢献など、多方面において貢献できるように努めていく所存でございます。

結びに、日頃より本校の発展にご尽力頂いています皆様方に、あらためて感謝申し上げますと共に、ご臨席いただきました皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げます。わたくしからのご挨拶とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

令和6年10月8日

鳥羽商船高等専門学校長 古山 雄一